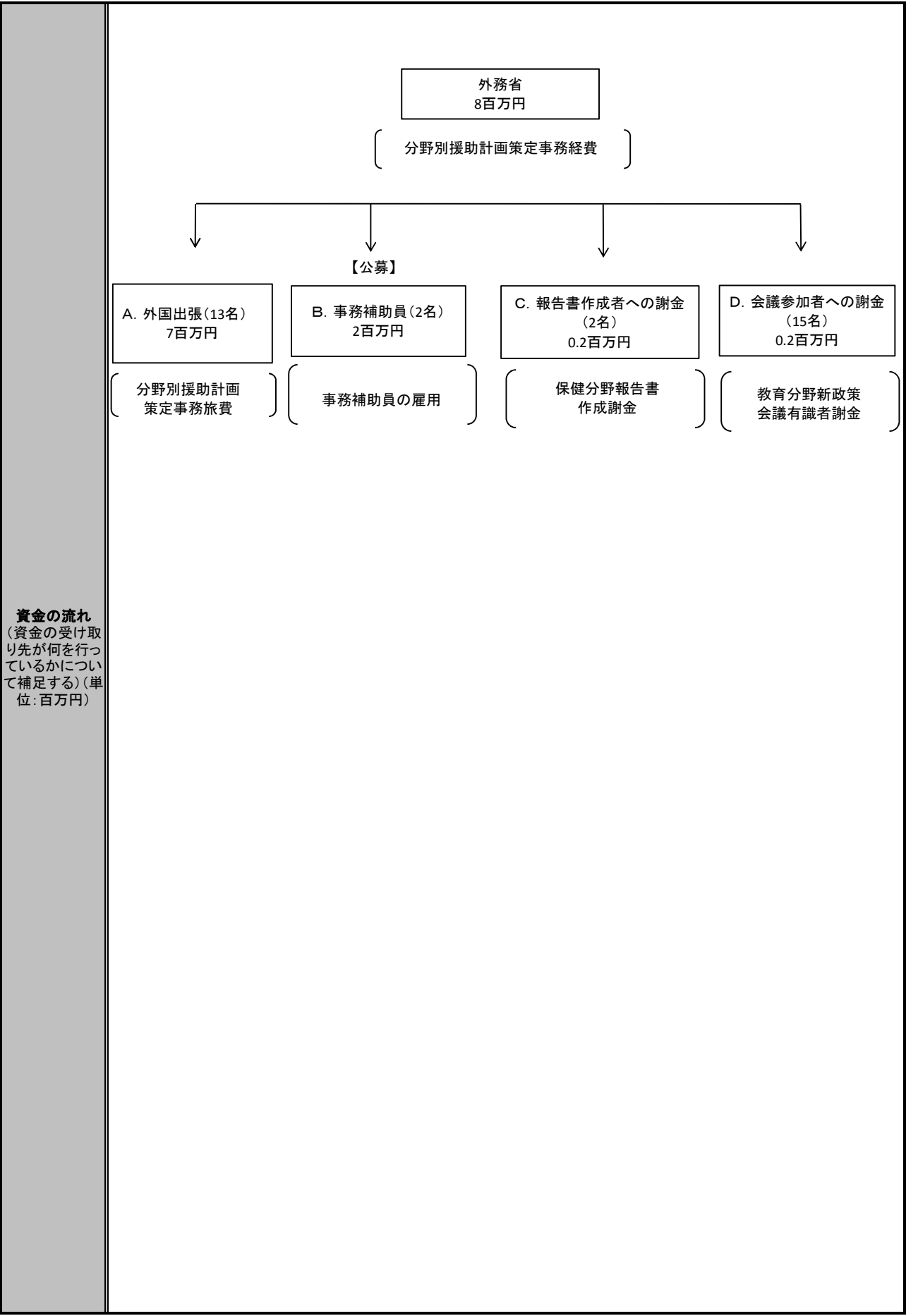


平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	分野別援助計画策定事務経費	担当部局庁	国際協力局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	—	担当課室	地球規模課題総括課	課長 松浦 博司				
会計区分	一般会計	施策名	VI-2 地球規模の諸問題への取組					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条1項ハ、3項、7項 外務省組織令第72条	関係する計画、通知等	政府開発援助大綱、政府開発援助に関する中期政策					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	分野毎の開発政策を策定し、特定分野における考え方や方針、我が国の比較優位のある援助活動等を内外に対してアピールするため、各分野で専門的な知見を有する国内関係者・関係機関と意見交換を行い、他のドナーの取組を情報収集するとともに、分野別の国際会議への参加を通じて援助ニーズの把握と我が国の考えや取組を発信する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	分野別援助計画及び計画に基づく具体的な援助戦略等を検討するため、省内、関係府省、実施機関(JICA等)の関係者及び有識者による会議、各種外国出張旅費、援助関係者等の実務者用参考資料の作成、国際教育協力日本フォーラム及び国連持続可能な開発のための教育10年円卓会議を開催。							
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	10	9	12	11	11	
		補正予算	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	10	9	12	11	11	
		執行額	10	9	9			
		執行率(%)	102.0%	90.4%	78.9%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (各年度)
	各種会議や協議において我が国の開発政策や援助活動を発信・浸透させることを目標とし、国際会議等におけるスピーチ・発言数を成果指標とする。		成果実績		45	52	34	48
			達成度	%	93.8%	108.3%	70.8%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	①分野別外交関連報告書作成 ②分野別関連会議開催 ③事務補助員の採用		活動実績 (当初見込み)	①回 ②回 ③人	①0 ②0 ③1	①1 ②3 ③2	①1 ②10 ③2 (①3 ②9 ③1)	— (①1②3③0)
単位当たりコスト	①200,000円／1回あたりの報告書作成額 ②129,562円／1回あたりの会議開催額 ③898,173円／1人あたりの年額所要額		算出根拠	①年額所要額(200,000円)／報告書作成数(1回) ②年額所要額(1,295,616円)／会議開催回数(10回) ③年額所要額(1,796,345円)／人数(2人)				
平成23年度 (単位:千円予算内訳)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	謝金	740	740					
	職員旅費(外国)	6,337	6,760					
	印刷製本費、会議費	950	979					
	招へい費	3,041	3,012					
	計	11,068	11,491					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	－	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大い場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	必要最低限の支出となっており支出の妥当性は確保されている。 なお、会議開催経費についても関係省庁と必要に応じ均等割合負担とするなど妥当と判断される。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	－		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
－			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			



費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロッ
クごとに最大の
金額が支出され
ている者につい
て記載する。費
目と使途の双方
で実情が分かる
ように記載）

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
賃金	事務補助員A	2			
計		2	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	職員A	外国出張旅費	0.9	—	—
2	職員B	外国出張旅費	0.9	—	—
3	職員C	外国出張旅費	0.8	—	—
4	職員D	外国出張旅費	0.7	—	—
5	職員E	外国出張旅費	0.6	—	—
6	職員F	外国出張旅費	0.5	—	—
7	職員G	外国出張旅費	0.5	—	—
8	職員H	外国出張旅費	0.5	—	—
9	職員I	外国出張旅費	0.3	—	—
10	職員J	外国出張旅費	0.3	—	—

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	事務補助員A	事務補助員の雇用	2	—	—
2	事務補助員B	事務補助員の雇用	0.02	—	—
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	有識者A	保健分野報告書作成	0.1	—	—
2	有識者B	保健分野報告書作成	0.1	—	—
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	有識者A	会議出席謝金	0.01	—	—
2	有識者B	会議出席謝金	0.01	—	—
3	有識者C	会議出席謝金	0.01	—	—
4	有識者D	会議出席謝金	0.01	—	—
5	有識者E	会議出席謝金	0.01	—	—
6	有識者F	会議出席謝金	0.01	—	—
7	有識者G	会議出席謝金	0.01	—	—
8	有識者H	会議出席謝金	0.01	—	—
9	有識者I	会議出席謝金	0.01	—	—
10	有識者J	会議出席謝金	0.01	—	—